

避難する場所の種類



避難所とは

災害が発生した時に、住居が被害を受け居住の場を失った人や避難指示などが発令された場合に、避難の必要がある人を収容する市指定の学校などの建物のことをいいます。



福祉避難所とは

高齢者や障がいのある人など、一般の避難所生活において配慮を必要とする要配慮者が一時的に生活する避難所です。また、一般の避難所とは異なり、必要に応じて開設する2次的な避難所です。



津波一時避難施設とは

遠くへの移動が困難な場合に緊急的かつ一時的に避難するための避難先として堅固で高い建物を市内各所で指定しています。避難所のように避難生活をする場所ではありません。

分散避難

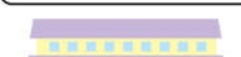
指定避難所への避難のほかに、安全な地域に住む親せき・知人宅や、ホテルなど高層建物への避難も考えられます。また十分な準備がされており、かつ被災のおそれがないのであれば、在宅避難も選択が可能です。このように避難先を複数にわけけることを分散避難と呼び、感染症対策にもつながります。

知人宅

親せき宅

避難所

ホテル・旅館



救護所設置避難所

医療機関だけでは対応しきれない場合等に「救護所」が設置される避難所。トリアージや応急処置等を実施します。救護所から災害対応病院などへの傷病者搬送も行われます。
※津波防災情報マップの避難所一覧に記載しています。



避難所と津波一時避難施設は異なります！

例えば、浜屋小学校は教室棟の3階の廊下が「津波一時避難施設」になっていますが「避難所」となっているのは体育館です。体育館は津波による浸水被害のおそれがあるため、津波が来るおそれなくなり、施設の安全が確認できれば使用できます。



避難の方法

災害が発生する前に早めの避難が必要です。ただし、避難経路が浸水しているなど、屋外への避難が危険な状況では、無理な避難行動はできるだけ避けなければなりません。また、住んでいる地域や住まいの状況によっても個人がとるべき避難行動は変わります。避難情報が発令されたら、次のような避難方法を選択しながら、状況に応じた避難行動をとみましょう。

◆ ペットと避難する際のルール

芦屋市ではペットとの避難は市立幼稚園、小学校、中学校の避難所のみ可能です。ただし、避難所までは一緒に避難できますが、飼い主と同一の空間で過ごすことはできません。



芦屋市 HP
ペットのための防災対策

◆ 雨や風が強くなる前に避難しましょう

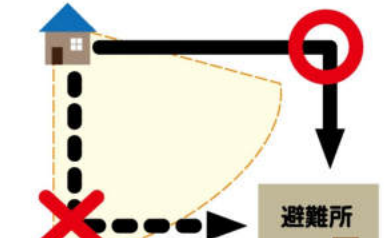


◆ 暗くなる前に避難しましょう



土砂災害時の避難の方法

◆ 土砂災害警戒区域などの外に早く出ましょう。



◆ 土石流は土砂の流れとは直角方向に逃げましょう。



避難時の心得

避難の際には次のことに注意しましょう。

1 動きやすく安全な服装で

ヘルメットや防災ずきんで頭を保護し、靴はひもでしめられる運動靴を。裸足・長靴は厳禁です。



2 単独行動はしない

避難するときは2人以上で。はぐれないように、ロープで結んで避難しましょう。



3 子どもや高齢者に配慮する

高齢者や病人などは背負い、子どもには浮き袋を着けさせて、安全を確保しましょう。



4 足もとに注意する

水面下には、マンホールや側溝などの危険な場所が。長い棒をつえ代わりして、確認しながら歩きましょう。



在宅避難のポイント

断水が発生！トイレどうしよう…

断水や停電によりトイレが使用できなくなった時のために、

1日5回×1週間×家族の人数

を目安に、簡易トイレを用意しておきましょう。



停電だ！どうしよう…

懐中電灯や乾電池、携帯ラジオ、モバイルバッテリーなどを備蓄しておきましょう。特に、停電時はテレビからの情報収集ができなくなります。停電時でも情報を得られるように備えましょう。

また、冷蔵庫の中身を確認して、生鮮食品など、傷みやすい物から食べるようにしましょう。



ガスも電気も止まって料理ができな！どうしよう…

カセットコンロやガスボンベを備蓄しておきましょう。調理だけでなく、お湯を沸かすのにも利用できますので、例えば、湯たんぽなどを用いて、真冬は暖をとることができそうです。

また、缶詰や防災カレーなど調理の必要がなく、そのまま食べられる食料なども備蓄しておきましょう。

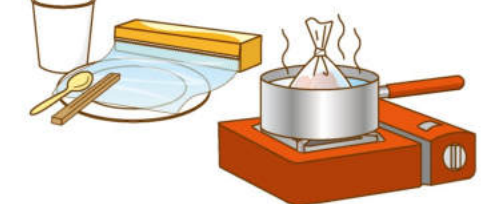


安心な在宅避難のために必要な備蓄品(例)

飲料水や食料はできれば1人1週間分、最低でも3日分は備蓄しておきましょう。
飲料水は1人1日3ℓが目安です。



断水に備えて、衛生環境を保つ物品を用意しておきましょう。また、お風呂やシャワーが使えない場合もあるので、ドライシャンプーやクレンジングシート、赤ちゃん用のおしり拭きシートなどがあると便利です。



節水料理や節水家事に便利なラップ、ポリ袋、使い捨て食器を備えておきましょう。ポリ袋は調理、ごみ袋、手袋の代わりとしても活用できます。

災害への備え

在宅避難できる場合の準備

下記のチェックリストを参考に、必要に合わせて、なくては困るものを準備しましょう。

水(飲料水)

食料(ごはん・パン・缶詰・レトルト食品等)

使い捨て食器類

食品用ラップフィルム

トイレ用ペーパー

ごみ袋・ポリ袋

電池

懐中電灯

携帯ラジオ

カセットコンロ・ガスボンベ

簡易(携帯)トイレ

携帯電話充電器、モバイルバッテリー

使い捨てカイロ

ウェットティッシュ

ドライシャンプー

マウスウォッシュ

非常持ち出し品の準備

避難後すぐ必要になるものを、すぐに持ち出せるようにリュックなどにまとめておきましょう。(成人男性で15kg、成人女性で10kgを目安に)

水(飲料水)

備蓄食糧(レトルト食品など)

現金(小銭を含む)

健康保険証

身分証明書

通帳・印鑑

歯ブラシ

携帯ラジオ

懐中電灯・乾電池

携帯電話充電器・モバイルバッテリー

簡易(携帯)トイレ

防寒具・雨具

ティッシュ

タオル

マスク

体温計

消毒液

ウェットティッシュ

上履き・スリッパ

ハンドソープ・せっけん

ドライシャンプー

ビニール袋

その他各家庭で必要と思われるもの

メガネ・クレンジングシート、コンタクトレンズ、補聴器など

【乳幼児のいる家庭】粉ミルク、液体ミルク、哺乳瓶、離乳食、おむつ、バスタオル、母子手帳など

【要配慮者のいる家庭】常備薬、おむつ、ティッシュ、常備薬など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

【アレルギーの方のいる家庭】アレルギー対応食など

回転備蓄(ローリングストック)で備える

普段利用している食料品や生活用品を少し多めに購入し、消費した分を補充することで、常に一定量の備蓄品を確保することができます。これが「ローリングストック」です。消費期限切れを防ぎ、いざというときに役立ちます。

ポイント1

古いものから使いましょう。

ポイント2

使った分は、必ず補充しましょう。

1 最初に多めに購入する。
消費期限に使い切る量が目安。

2 消費期限の短いものから順番に使う。

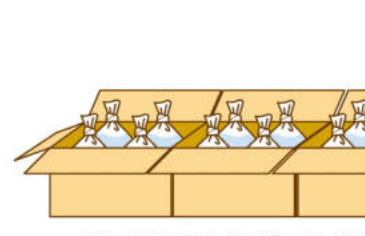
3 消費した分を補充し、いつも一定量に保つ。
2と3を繰り返す

家庭でできる浸水対策

身近にある材料で水を防ぐ方法を知っていると役立ちます。日頃から準備しておきましょう。



ゴミ袋による簡易水のう



簡易水のうと段ボール箱



プランターとレジャーシート

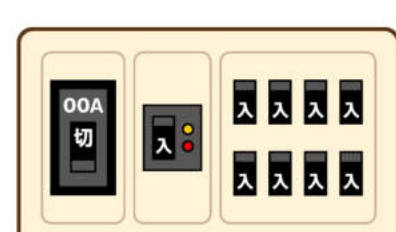


止水板

停電時の対応

停電が起こったら

- ブレーカーを確認する。
- ブレーカーが切れていれば「入」にする。
- それでも解消しない場合は関西電力送配電株式会社 0800-777-3081 (通話料無料) へ問い合わせ



停電情報の入手の仕方

アプリの活用

- 停電情報をプッシュ通知でお知らせ
 - 最大10地域まで登録地域を設定
 - 関西全域の停電情報が一目で確認可能
 - 詳細な地域の停電情報や、復旧見通しなどが確認可能
- 停電情報自動応答サービス 0800-123-7800 (通話料無料)



防災倉庫・資機材・河川警報装置(増水警報システム)

災害発生時や日常の訓練にも使用できるよう、市内に防災倉庫を設置しています。地域の防災訓練等に参加して、どんな資機材が入っているか、どう使えばいいかを日頃から確認しておきましょう。



▲防災倉庫 ▲段ボールベッド



▲ガスバーナー式発電機 ▲災害救助工具セット

河川警報装置(増水警報システム)



回転灯が作動している間は河川敷に立入らないようにしましょう

芦屋川の開瀬橋から下流12箇所に兵庫県が設置しています。



大雨・洪水注意報及び警報の発表と連動して回転灯(黄色に点灯)を作動し、解除されるまで点灯します。(音声による警告はありません)

アンダーパスに注意！

大雨や洪水でアンダーパス(立体交差で、掘り下げ式の下になっている道路)においては水が溜まりやすく大変危険です。冠水時には、水深も水の中の様子もわかりません。普段から地域のアンダーパスの場所を把握し、大雨時には進入しないようにしましょう。

冠水時に進入すると

水深 30cm	水深 50cm	水深 1m
車が動かなくなります	ドアが開かなくなります	車が浮いて流されます
マフラーから水が入るとエンジンが停止して、立ち往生してしまいます。	水圧でドアを開けることができなくなり、車内に閉じ込められてしまいます。	車体が浮いて流されてしまいます。避難路がふさがれ、避難に支障をきたします。



市内アンダーパスの数か所には、冠水表示板があり、水位の上昇に合わせて、注意喚起や通行止めといった情報が表示されます。
※詳細は道路・公園課(TEL0797-38-2062)まで